

今を未来に

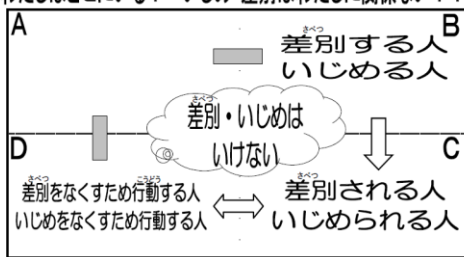
PTA家庭教育講演会 11月17日(土)

2・3限目フリー参観ののち、午後から保護者の方には、6年生児童や中学生と一緒に、反差別・人権研究所みえ 本江優子さんの講演「ひとりひとりが『わたしらしく』生きるために」を聞かせてもらいました。本江さん自身の生い立ちにもふれながら、人権学習は何のために、誰のためにしているのかなど子どもたちとともに考えるものでした。



下の図を用いながら、差別問題における自分の立ち位置はどこにあるか考えました。ま

わたしはどこにいる? ~いじめ・差別はわたしに関係ない!?



*う、自分はどこにいる? → 差別やいじめは自分に
*どんなとき、動く? → 関係ないこと?

ず、Bの「差別する人」・Cの「差別される人」について考えました。生まれたところや障がいなど勝手な理由をつけて、「差別する人」がいることで、「差別される人」が出てきます。しかし、差別されるためにも、差別するためにも生まれてきた人もいません。では、Aの枠に入る人は、どんな人でしょう。子どもたちからは、「見て見ぬふりをする人」「注意をしない人」と出されました。そのほか「関係ないと思っている人、

どうでもいいと思っている人、知らない人、言いたいけど言えない人」などがAに入ることでした。そして、そういった人たちが何かをきっかけに「差別する人」になったり、時に「差別される人」になったりする。そうならないために人権学習を通して正しく知り、Dの「差別をなくすため行動する人」をめざすのだとお話されました。また、知らないことは悪いことではないけど、知らないうちに差別をされる人を作ってしまったたり、差別する人になってしまっていたりすることがある。人権を英訳すると Human Rights で、「人の権利」とも訳せますが、「人として正しいこと」とも訳せます。間違っていることがあったときに、間違っていると言い合えるなかまづくりが大切で、困っているときに力になってくれる人の存在が貴重であり、自分もそんな存在になれるような生き方をいっしょに目指していきたいと話されました。

「人権とは、自分が自分らしく生きるために必要なもの」「差別は、“生きる”ということを奪うもの」で、人権学習は、「だれのためでもなく、自分のため、わたしが生きるために、人権や差別のことを学ぶ」ことだと。

私たち一人ひとりが、さまざまな人権問題に自分は向き合っているのか、自分はどの立ち位置にいるのか問いながら、私らしく生きることができる社会をつくれるよう考えていきたいですね。



三泗小学校音楽会 第1部 11月17日(土)

同じ日に、土曜授業として4年生65人は、午前中三泗小学校音楽会に学校代表として参加しました。学校を出発する前から子どもたちには、全ての行動が保々小学校の代表ということ意識して過ごすことができるようにと話していました。三岐鉄道や近鉄電車に乗る時も、他のお客さんの迷惑にならないようにと、いつもの元気いっぱいの姿を封印している子どもたちでした。ただ、電車を利用されていたから、マナーが悪くて足を踏まれた、マナーが守れないなら電車に乗せないでほしいという電話が入っていました。博物館へ入る前に聞くと、二人の子が「足を踏んでしまった。」「その場で謝った。」と言っていました。ご迷惑をおかけした方があることを、子どもたちとも確認をしました。

さて、発表の方についてですが、子どもたちは、とっても緊張していたようです。舞台に向かう前に、「緊張するなあ。」「ドキドキしてきた。」と言いながらステージに向かいました。おそらく、舞台に立ってみると、改めて会場の広さと観衆の多さで、緊張感はますます高まったと思います。それでも、会場の後ろの方で聞いていても、しっかりと声が出せている様子が伝わってきました。自分の席に戻ってきた時の顔は、にこにこ顔でした。やり切れたと感じた子が多かったようです。午前の部が終了して外に出た時に担任の先生から「力は出し切れ了吗?」と尋ねられると、「はい。」と顔をあげて答えていたことが何よりだと感じました。

お昼のお弁当を広場で食べた後、プラネタリウムを見せていただきました。内容はいつものように保々バージョンと言うわけには行きませんが(土日は団体は入れないのですが、毎年行かせていただいていることに特別に博物館さんが配慮していただけました。)、初めてプラネタリウムを見るという子もいて、とってもいい機会が持てたと思いました。保護者の皆様には、文化会館が大規模改修中で、土日開催となったため、見学の入場制限までありましたこと、申し訳なく思っています。たくさんの方が応援に来ていただいたこと、また朝早くからお弁当をご準備いただいたこと(それも天気によって中身が変わるという連絡になっていました)に感謝申し上げます。ありがとうございました。



陶芸教室(万古焼体験)3年生 11月17日(土)

3年生に向けた陶芸教室(万古焼体験)も土曜授業の中で、行っていただきました。フリー参観の時間ということもあって、たくさんの保護者の方に参観いただけたと、担任から聞きました。ありがとうございました。また、事前に、ビンや古タオルなどの準備をしていただいたおかげで、スムーズに形成することができたそうです。

できあがった作品は、1月末ごろに学校に届くとよいのですが、多数の学校を駆けもちしているとのことで、まだ「希望」の段階だそうです。みんなの作品が戻って、「灯の展覧会」ができるといいなと3年生の方では計画をされているそうです。作成している様子が今年は観られなかったもので、どんな作品に仕上がって戻って来るか、子どもたちと楽しみにしながら、待ちたいと思っています。

